

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大肚宗徳
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏
 電 話 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期 通期業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する純利 益	1 株当たり当期純利益
前回予想 (A)	65,000	1,000	500	300	円 銭 3.71
今回修正 (B)	56,000	1,300	70	△200	△2.46
増減額 (B-A)	△9,000	300	△430	△500	—
増 減 率 (%)	△13.8%	30.0%	△86.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	64,392	△2,029	△2,241	△1,126	△14.89

(注) 平成 29 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、平成 29 年 2 月 22 日実施の第 3 回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換による新株式の発行分 (5,309,730 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、AV 事業において不採算製品の大幅な販売見直しや円高による海外売上高の目減りがあり前回予想を下回る見込みです。

営業利益につきましては、不採算製品の販売見直しやパイオニアグループのホーム AV 事業との統合によるさまざまなシナジー効果を実現することができたほか、今後の重点セグメントと位置付けているデジタルライフ事業においてヘッドホンやポータブルデジタルオーディオプレーヤー (DAP)、高音質を追求したハイレゾスマートフォンなどの販売が伸長したことなどにより前回予想を上回る見込みです。

経常利益、親会社株主に帰属する純利益につきましては、平成 29 年 2 月 10 日に公表いたしました為替差損の発生などにより前回予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上